

島根県の経済動向

平成21年6月29日
政策企画局統計調査課

平成21年4月分

先月からの主要変更点

	4月分	3月分
総括判断	<p>本県経済は、<u>悪化のテンポは緩やかになっているものの、依然として厳しい状況にある。</u></p> <p>生産活動は<u>下げ止まりの兆し</u>が見えるが、雇用情勢は<u>厳しい状況</u>、個人消費は<u>一段と弱い動き</u>となっており、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。</p>	<p>本県経済は、悪化している。</p> <p>生産活動は低下幅が縮小したが、雇用情勢は悪化、個人消費は弱い動きが続き、投資動向も基調として弱い動きが続いている。</p>
個別項目	<p>「生産活動」 <u>下げ止まりの兆し</u></p> <p>「雇用情勢」 <u>厳しい状況</u></p> <p>「個人消費」 <u>一段と弱い動き</u></p>	<p>「生産活動」 低下幅が縮小</p> <p>「雇用情勢」 悪化</p> <p>「個人消費」 弱い動き</p>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。

島根県の経済動向

平成21年4月分

平成21年 6月29日
政策企画局統計調査課

一本県経済は、悪化のテンポは緩やかになっているものの、
依然として厳しい状況にある。

生産活動は下げ止まりの兆しが見えるが、雇用情勢は厳しい状況、個人消費は一段と弱い動きとなっており、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。

生産活動	⇒	～下げ止まりの兆し～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は72.0、対前年同月比は▲29.6%と依然として低い水準にあるが、一部の業種では上向いており、また、大口電力需要実績も▲26.4%と6か月連続で前年を下回っているものの減少幅が縮小するなど、生産活動は下げ止まりの兆しが見える。
雇用情勢	⇒	～厳しい状況～	有効求人倍率は0.59倍とほぼ横ばい、新規求人数は7か月連続で前年を下回った。また、きまって支給する給与も6か月連続でマイナスとなり、所定外労働時間（製造業）は▲56.3%と引き続き前年を大幅に下回るなど、雇用情勢は厳しい状況が続いている。
個人消費	⇒	～一段と弱い動き～	ホームセンター販売額は12か月連続で前年を上回ったが、大型小売店販売額、家電量販店販売額は共に4か月連続で前年を下回り、乗用車新車登録台数は対前年同月比▲24.0%と6か月連続の大幅減となるなど、個人消費は一段と弱い動きとなっている。
投資動向	⇒	～基調としては弱い動き～	公共工事請負金額は大型工事の着工等により3か月連続で前年を上回ったが、建築着工床面積、新設住宅着工戸数は共に2か月連続で前年を下回っており、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	⇒	～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。うち建設業は1件、製造業は0件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年0.2%減～	銀行預金残高は10か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は2か月連続で前年を下回った。
物 価	⇒	～対前年0.3%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.8となり、対前年同月比0.3%減と2か月連続の下落となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数 (平成21年6月29日公表)		景気動向指数の先行指数は9か月連続で50%ラインを下回った。一致指数は8か月連続で50%ラインを下回った。
	法人企業景気予測調査結果 (平成21年6月22日公表)		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状(21年4～6月期)は▲33.0%ポイントと前期に比べ「下降」超幅が大幅に縮小している。 〔先行きについては、翌期(7～9月期)に「下降」超幅が大幅に縮小し、翌々期(10～12月期)には「上昇」に転じる見通し。〕

経済指標	前年同月比（*を除く）%						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	85.5	81.1	73.8	68.6	67.5	72.0
	" (原指数)	▲23.0	▲20.9	▲29.6	▲35.5	▲31.5	▲29.6
	大口電力需要実績	▲6.7	▲18.2	▲29.1	▲37.7	▲37.6	▲26.4
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.80	0.76	0.67	0.62	0.57	0.59
	新規求人数	▲14.6	▲8.8	▲21.1	▲15.6	▲14.0	▲18.5
	常用労働者数	2.5	2.0	0.4	0.0	▲0.9	▲0.2
	現金給与総額	▲1.2	▲4.9	1.6	▲0.6	0.6	▲0.7
	きまって支給する給与	▲1.5	▲1.3	▲0.7	▲0.8	▲1.3	▲0.6
	所定外労働時間（製造業）	▲33.5	▲46.4	▲60.0	▲61.3	▲62.3	▲56.3
個人消費	大型小売店販売額	1.7	2.8	▲2.6	▲6.8	▲2.9	▲5.2
	ホームセンター販売額	5.2	2.0	1.8	4.7	2.3	6.3
	家電量販店販売額	11.9	1.4	▲0.5	▲3.2	▲6.2	▲14.4
	乗用車新車登録台数	▲14.3	▲17.2	▲13.3	▲19.7	▲16.6	▲24.0
	出雲空港利用者数	▲4.1	▲8.6	▲6.5	▲8.0	▲1.4	▲14.4
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	10.7	▲40.4	38.1	84.8	▲80.3	▲61.3
	公共工事請負金額	0.7	▲17.8	▲20.3	19.4	52.9	194.4
	新設住宅着工戸数	▲34.5	▲29.9	▲42.5	17.2	▲7.8	▲56.4
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	5	8	3	6	5	3
	* 負債総額（百万円）	629	1,295	481	493	198	1,235
金融情勢	銀行預金残高	2.8	1.4	2.1	2.6	1.1	2.2
	銀行貸出金残高	0.0	0.5	0.9	1.3	▲0.7	▲0.2
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	102.2	101.9	101.4	101.0	101.1	100.8
その他	* 景気動向指数（先行指数）	28.6	14.3	28.6	28.6	42.9	28.6
	* 景気動向指数（一致指数）	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	22.2

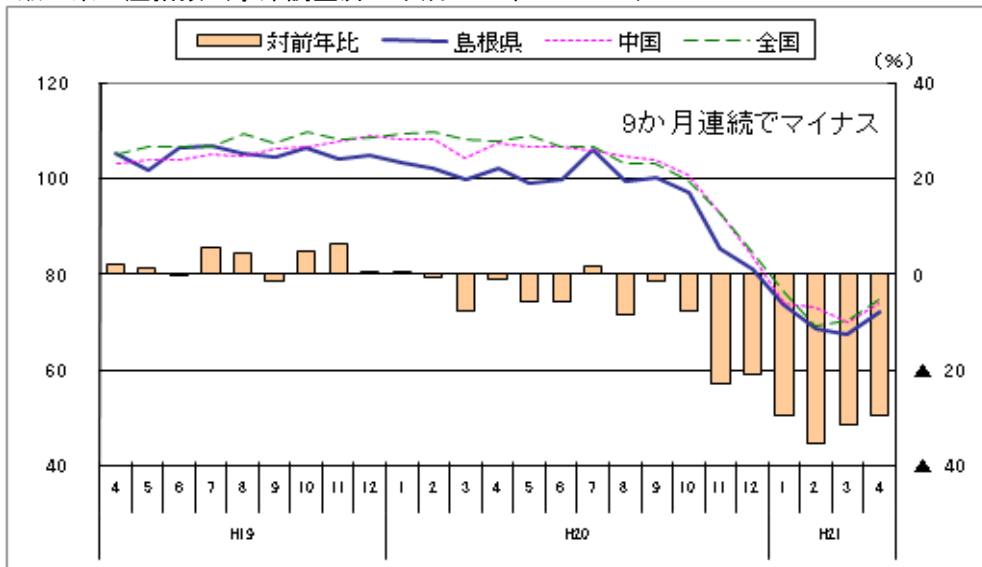
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 平成21年6月17日											
	<p>景気は、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、持ち直している。 ・ 設備投資は大幅に減少している。 ・ 雇用情勢は、急速に悪化しており、厳しい状況にある。 ・ 個人消費は、弱い動きとなっているものの、一部に下げ止まりの兆しもみられる。 <p>先行きについては、当面、雇用情勢が悪化するなかで、厳しい状況が続くとみられるものの、在庫調整圧力の一層の低下や経済対策の効果が景気を下支えることに加え、対外経済環境が改善することにより、景気は持ち直しに向かうことが、期待される。一方、生産活動が極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念される。加えて、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。</p>											
中国 地方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成21年6月12日											
	<p>中国地域の景気は、雇用は悪化、個人消費は減少傾向にあるものの、景況感は厳しい水準ながら一部に持ち直しの動きがみられ、生産・輸出も下げ止まりの動きとなるなど、総じてみると、低迷しているものの一部に持ち直しの動きがみられます。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…下げ止まりの動き</td> <td>2. 景況感…厳しい水準ながら、一部に持ち直しの動き</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…減少</td> <td>4. 物価…下落傾向</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…減少傾向</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…減少</td> <td>7. 建設動向…低調</td> </tr> <tr> <td>8. 雇用動向…悪化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 企業倒産…14か月ぶりに減少</td> <td>10. 貿易…下げ止まりの動き</td> </tr> </table>	1. 生産動向…下げ止まりの動き	2. 景況感…厳しい水準ながら、一部に持ち直しの動き	3. 産業用電力需要…減少	4. 物価…下落傾向	5. 個人消費…減少傾向		6. 設備投資…減少	7. 建設動向…低調	8. 雇用動向…悪化		9. 企業倒産…14か月ぶりに減少
1. 生産動向…下げ止まりの動き	2. 景況感…厳しい水準ながら、一部に持ち直しの動き											
3. 産業用電力需要…減少	4. 物価…下落傾向											
5. 個人消費…減少傾向												
6. 設備投資…減少	7. 建設動向…低調											
8. 雇用動向…悪化												
9. 企業倒産…14か月ぶりに減少	10. 貿易…下げ止まりの動き											
山陰 地方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2009年5月29日											
	<p>山陰両県の景気は、足もと悪化に歯止めが掛かりつつある。すなわち、生産はこのところ小幅ながら持ち直しに転じているほか、公共投資は足もと大幅に増加している。こうした中、雇用面では悪化のテンポが幾分緩やかになっている。一方、設備投資は企業収益の一段の悪化や先行き不透明感を背景にさらに減少している。また、個人消費は低調な動きとなっているほか、住宅投資も低迷している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産は、一部業種で上向いており、小幅ながら持ち直しに転じている。 ・ 個人消費は、低調な動きとなっている。 ・ 設備投資（3月短観調査）は、企業収益の一段の悪化や先行き不透明感を背景にさらに減少している。 ・ 公共投資は、足もと大幅に増加している。 ・ 住宅投資は、低迷している。 ・ 雇用・所得情勢をみると、所得面では依然厳しい状況が続いているが、雇用面では悪化のテンポが幾分緩やかになっている。 											
山陰 地方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2009年5月28日											
	<p>当地の景気は、公共投資には増加傾向がうかがえるものの、生産では大幅な悪化が、個人消費と住宅建設では低調な推移が続いており、総じて悪化が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、このところ増加傾向がうかがえる。 ・ 設備投資は、全産業でも前年度を下回る計画（企業動向調査3月）。 ・ 住宅建設は、低調な推移が続く。 ・ 個人消費は、このところ低調な推移が続いている。 ・ 生産は、大幅な悪化が続いているが、一部では下げ止まり感も出てきた。 ・ 雇用情勢は、悪化がさらに進んでいる。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに悪化したことから、全産業も悪化（▲37.1→▲48.1）。先行き（09年9月）については、製造業は悪化を予想しているものの、非製造業が小幅改善を予想していることから、全産業は横ばい（▲48.1→▲48.1）で推移する見通し（企業動向調査3月）。 											
島根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成21年4月22日（四半期ごとに公表）											
	<p>県内経済は、悪化している。生産活動は引き続き大きく低下しているほか、企業収益も赤字転化見込みとなっている。また、雇用情勢は有効求人倍率が低下しているなど、厳しい状況となっており、個人消費も弱い動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 弱い動きとなっている ・ 生産活動 引き続き大きく低下している ・ 雇用情勢 厳しい状況 ・ 公共事業 前年度を上回っている ・ 設備投資 20年度は減少見込み ・ 企業収益 20年度は赤字転化見込み 											

経済指標の推移

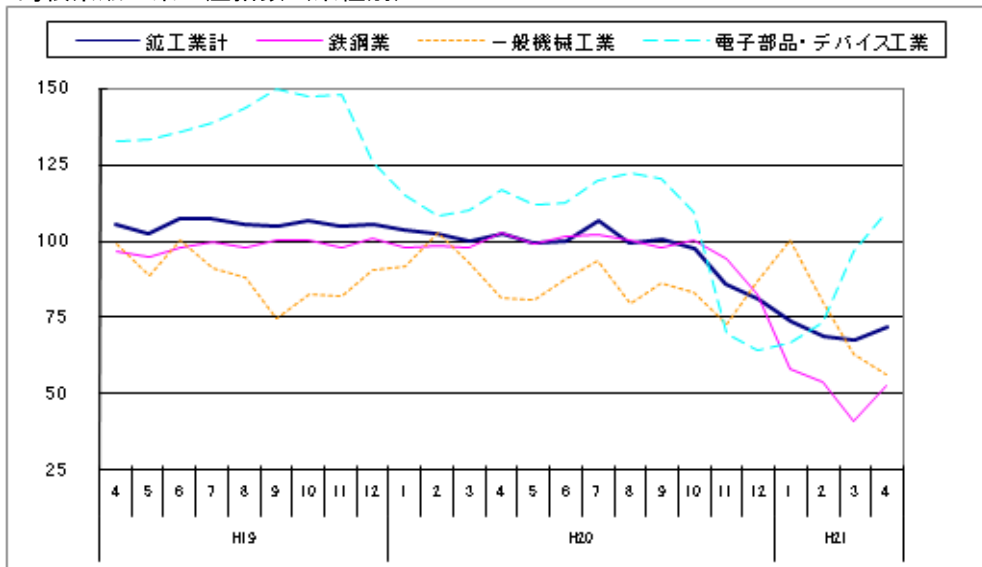
【生産活動】 ～下げ止まりの兆し～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



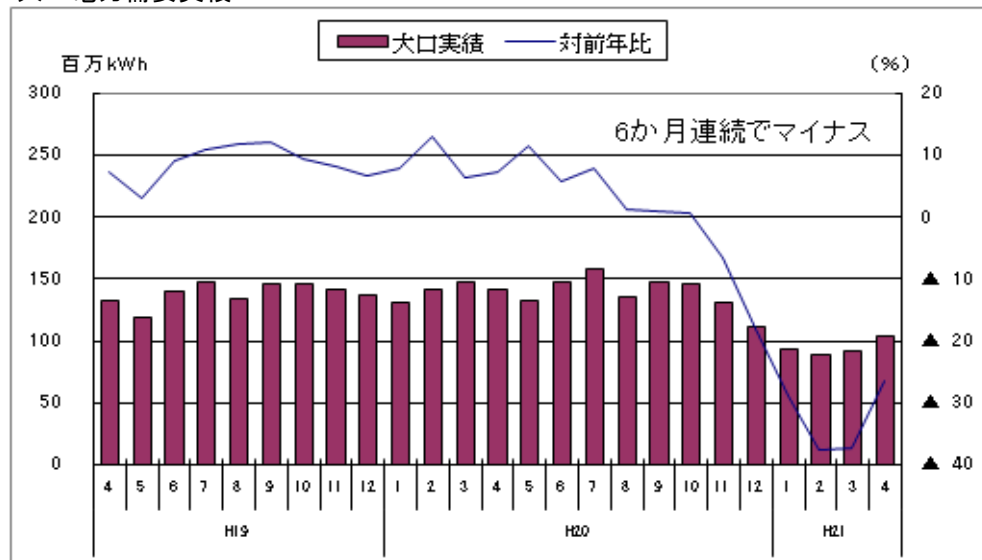
(注) 対前年比は、島根県の実指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

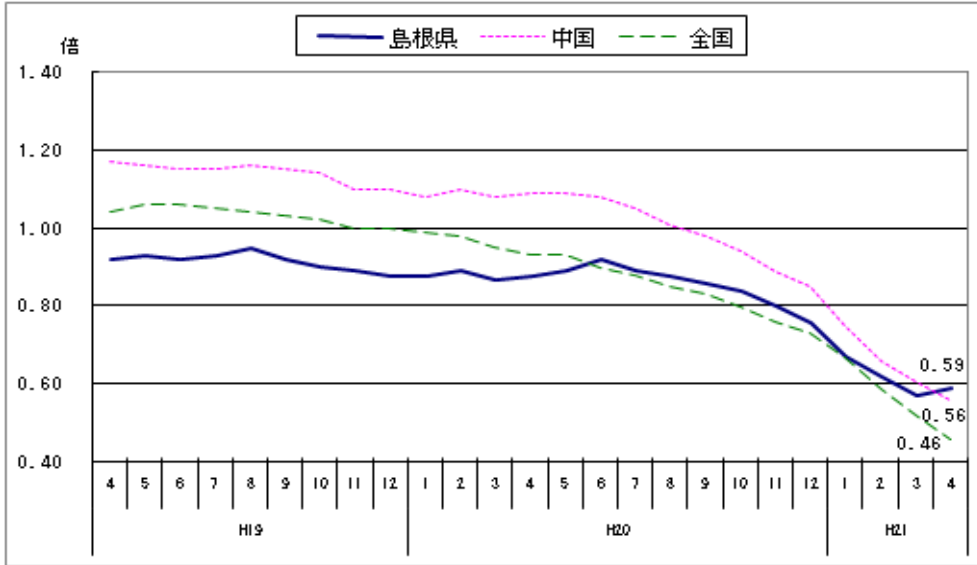
大口電力需要実績



(中国電力株)

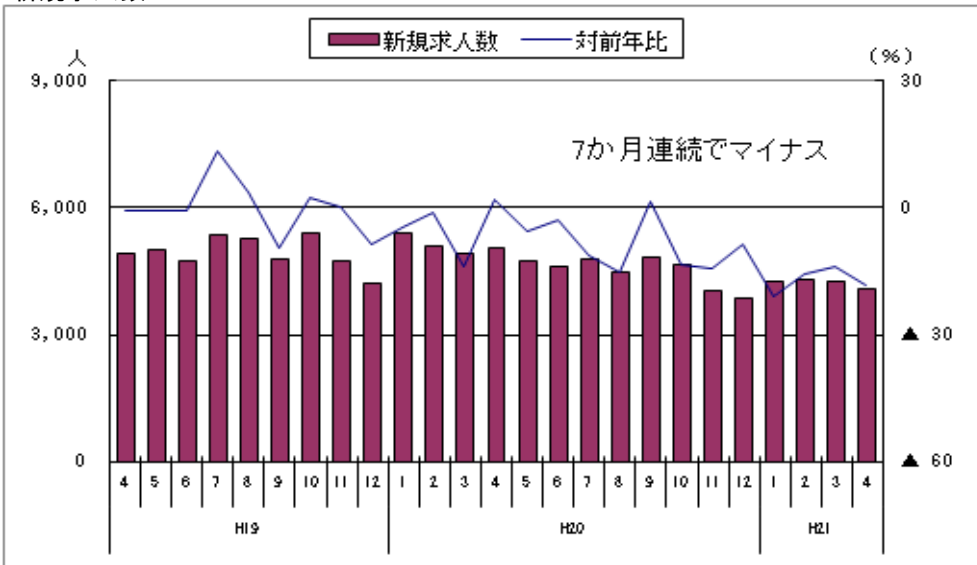
【雇用情勢】 ～厳しい状況～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



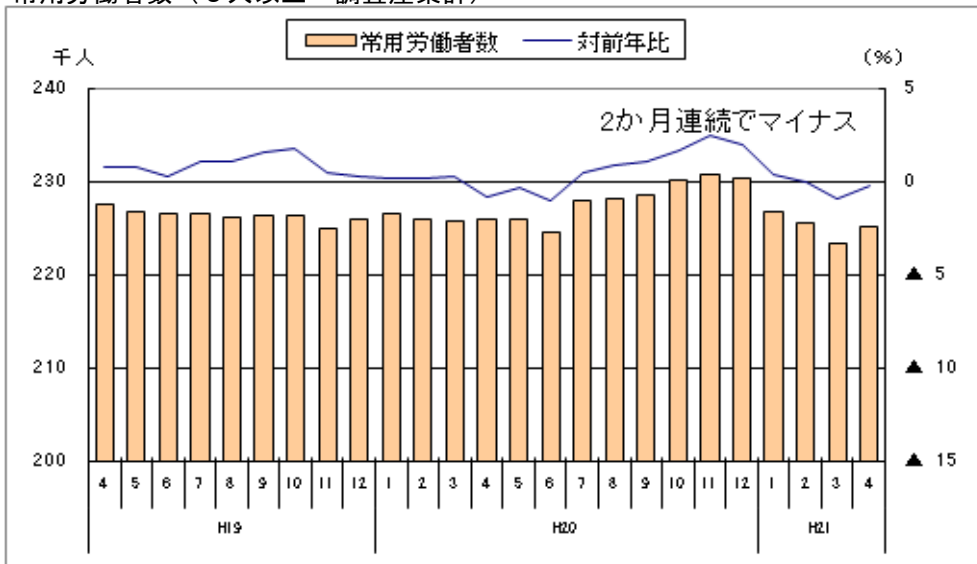
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

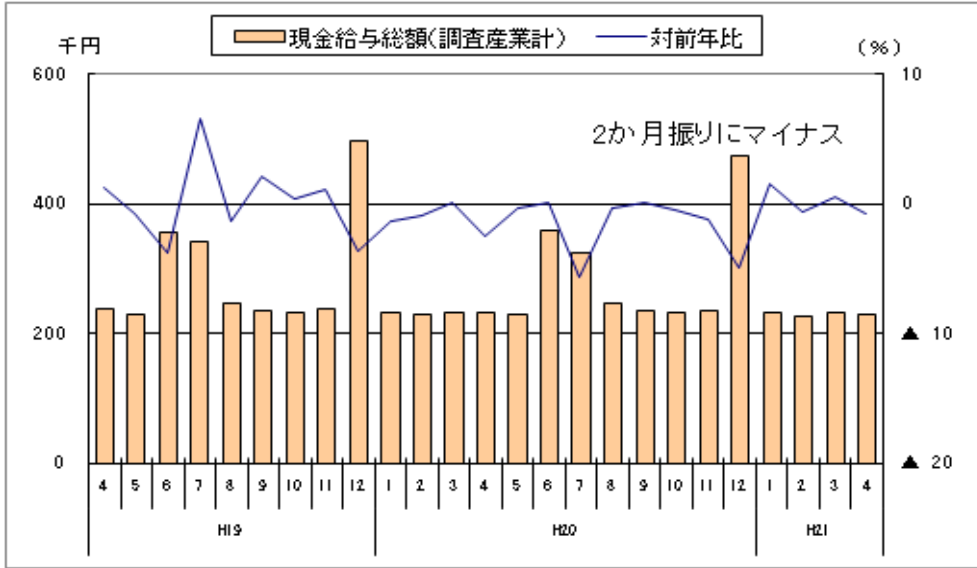
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

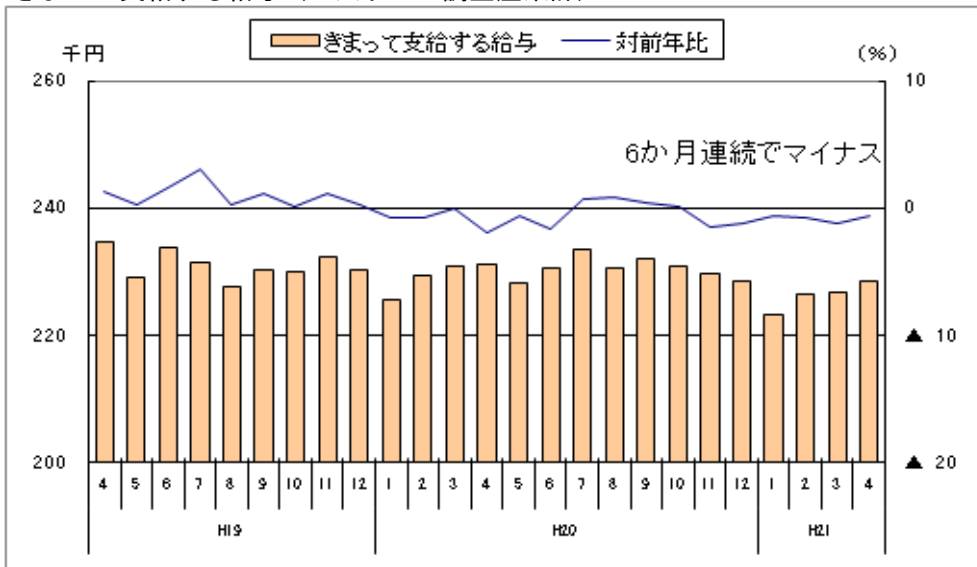
【雇用情勢】 ～厳しい状況～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



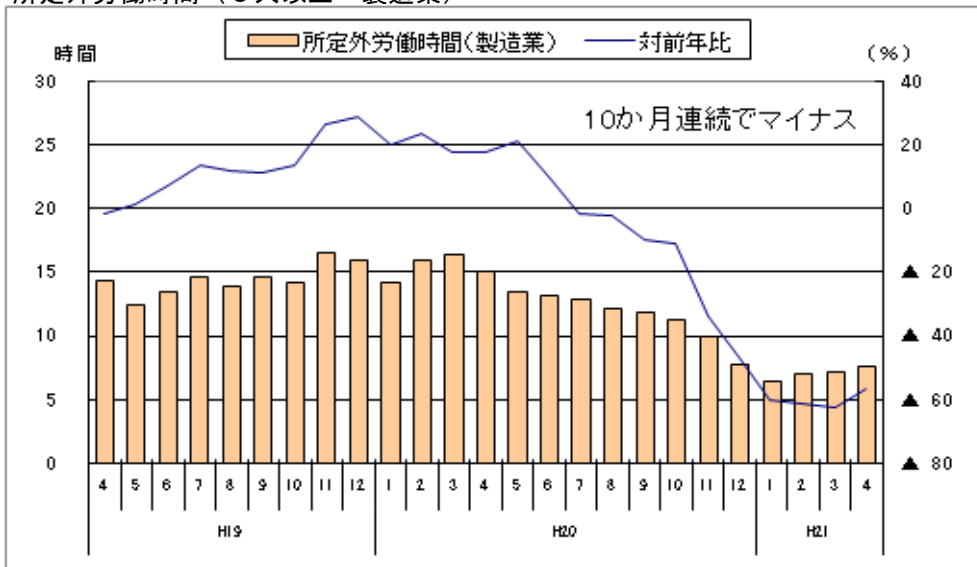
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

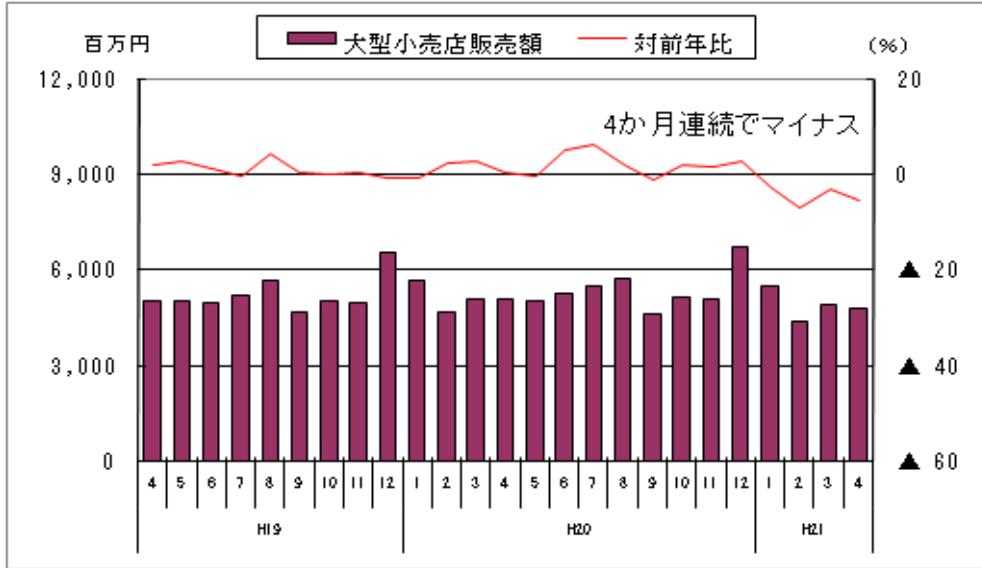


(県統計調査課)

【 個人消費 】

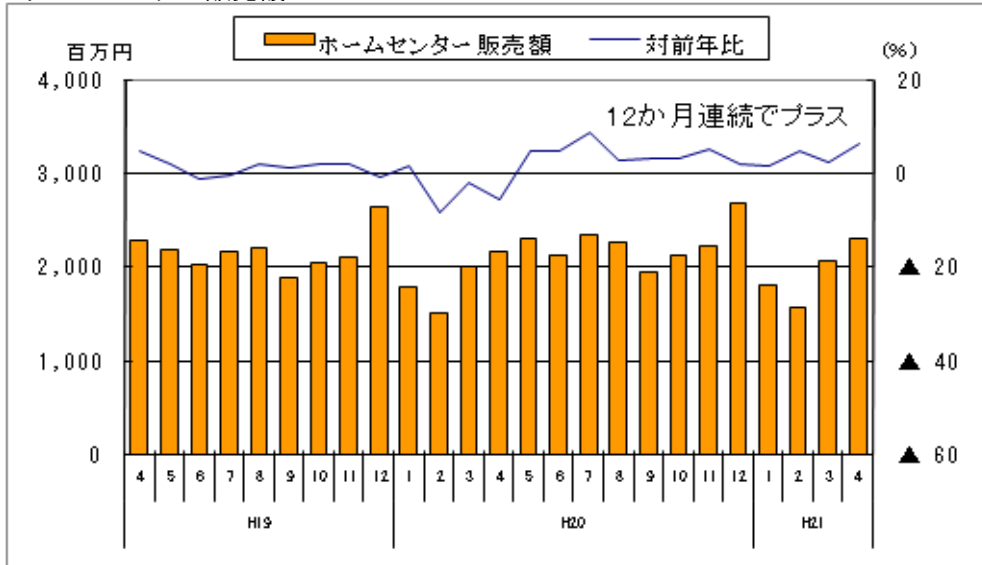
～一段と弱い動き～

大型小売店販売額



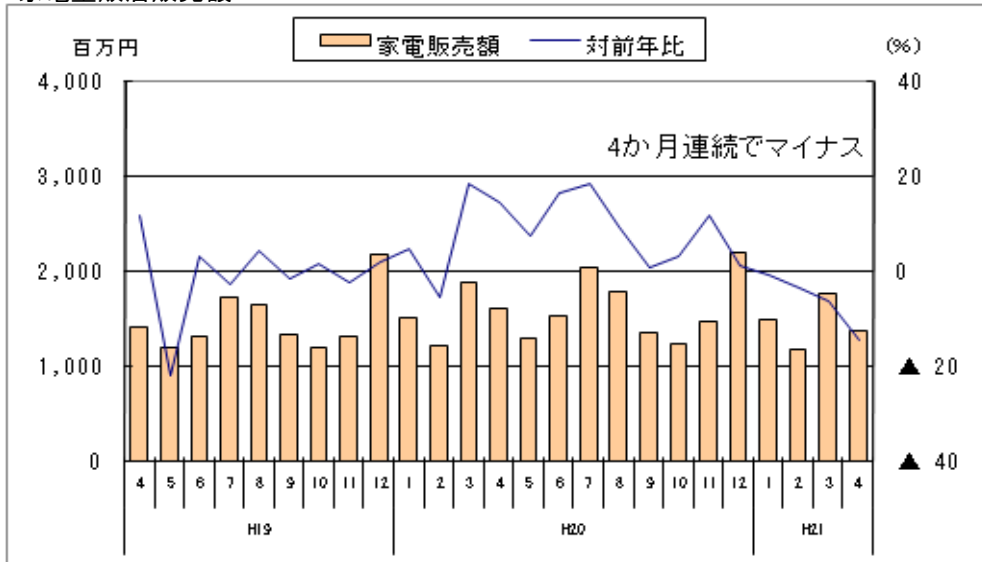
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

家電量販店販売額

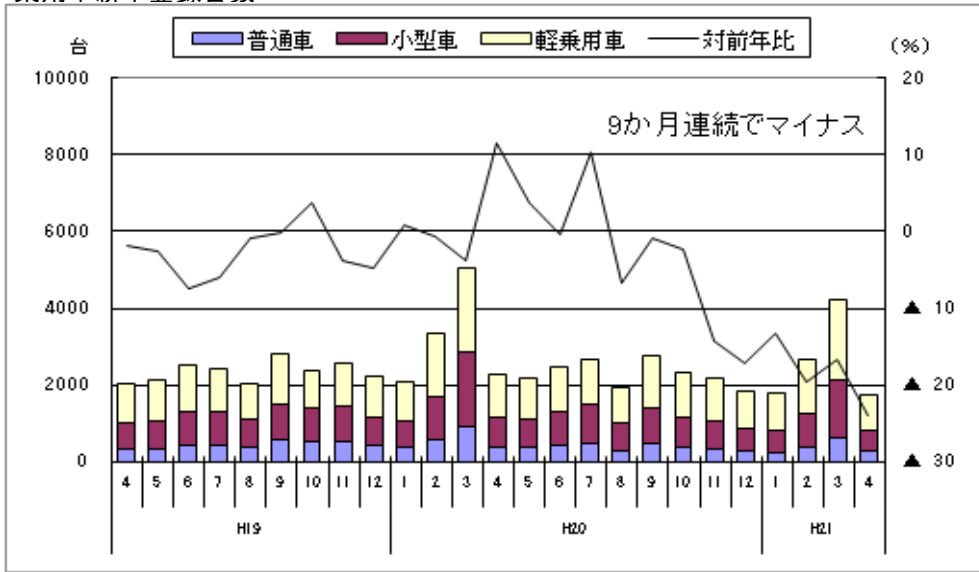


(中国経済産業局)

【 個人消費 】

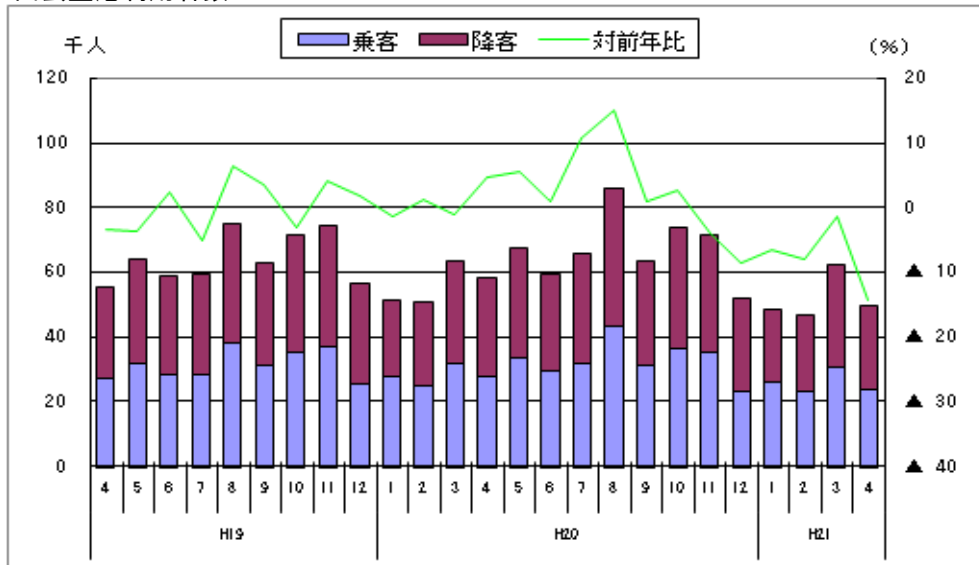
～一段と弱い動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

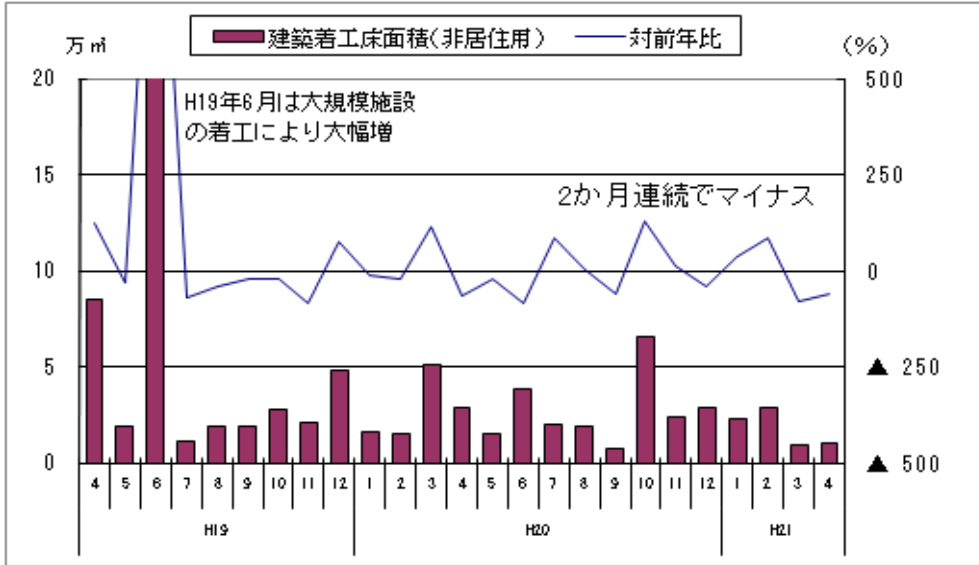
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

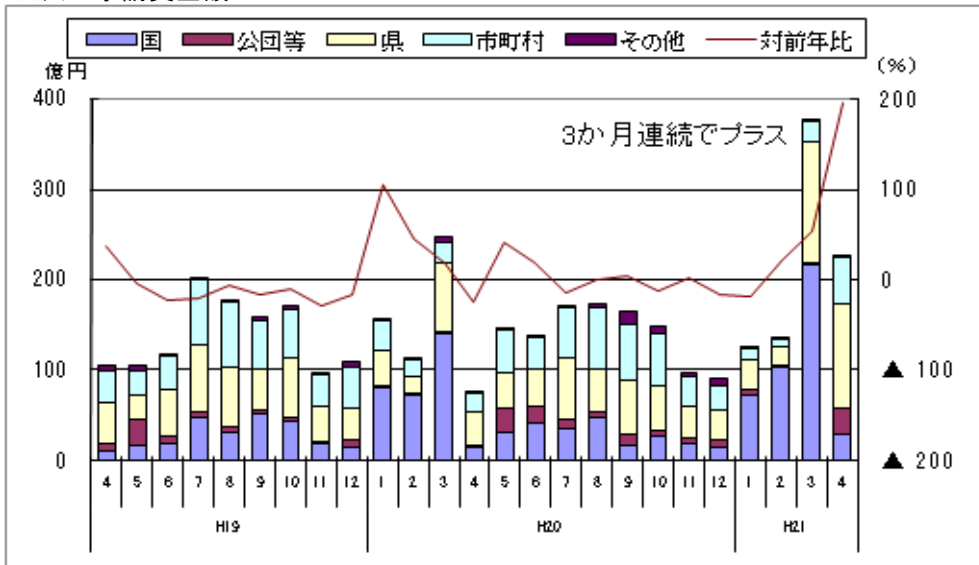
【 投資動向 】 ～基調としては弱い動き～

建築着工床面積（非居住用）



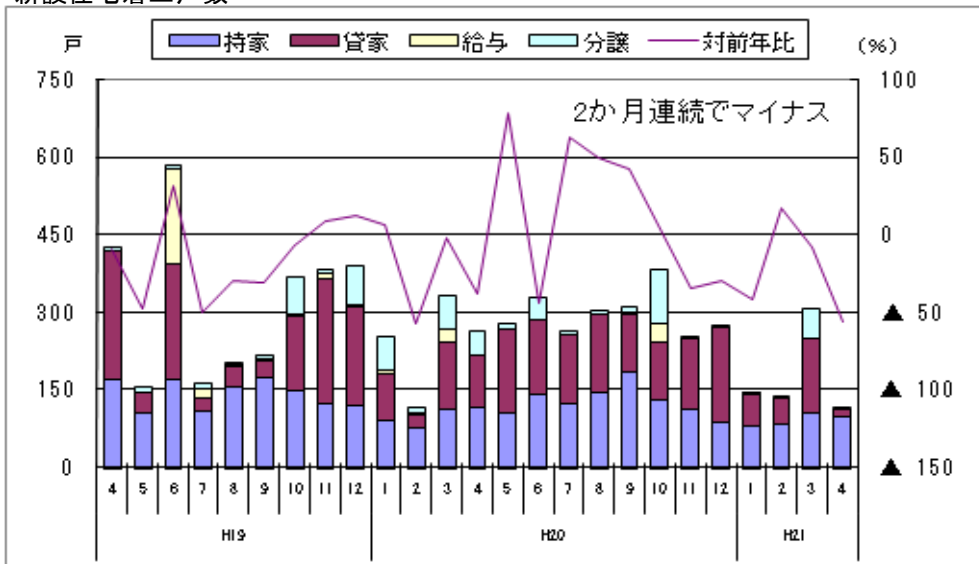
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

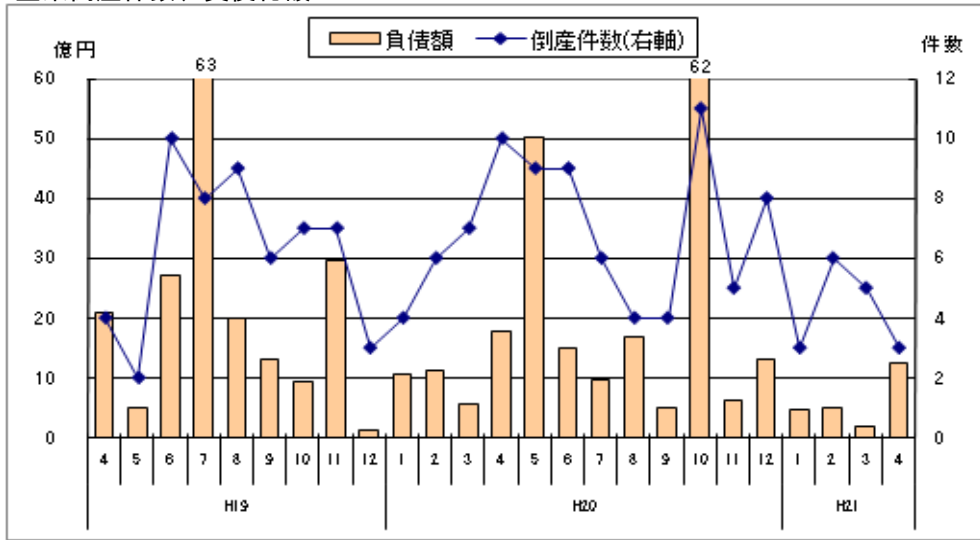
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 3 件～

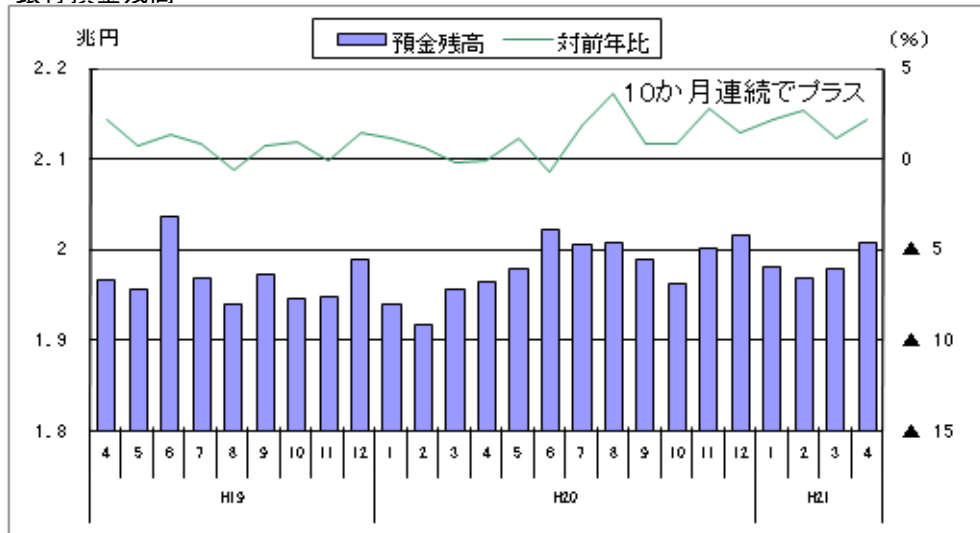
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

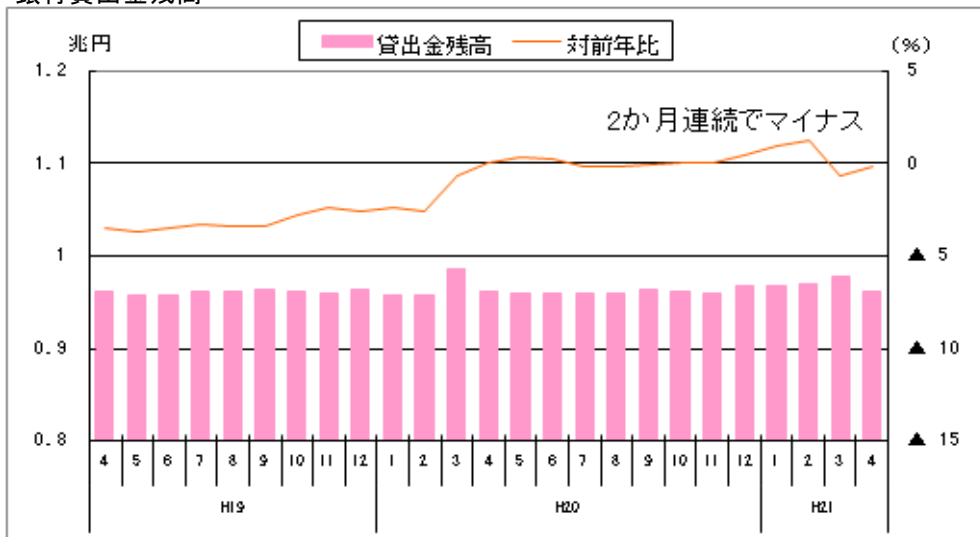
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年0.2%減～

銀行預金残高



(日本銀行)

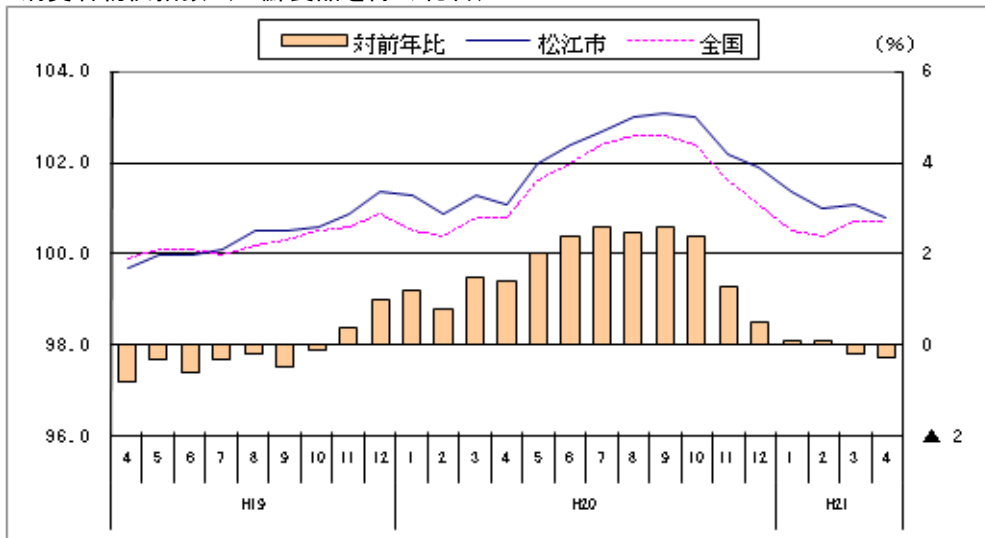
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.3%下落～

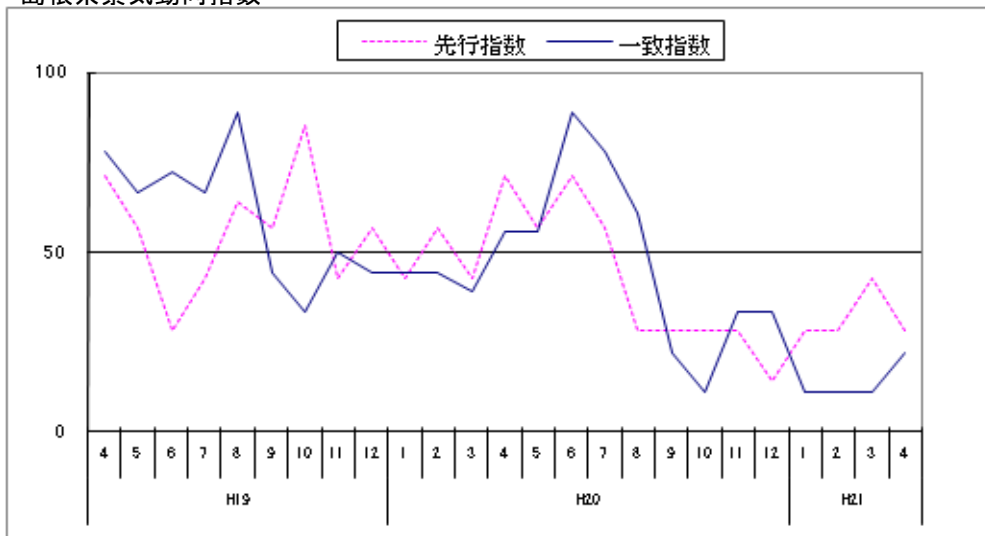
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成21年6月22日 財務省松江財務事務所）
平成21年 4～6 月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	21年 1～3月 前回調査	21年 4～6月 今回調査	21年 7～9月 見 通 し	21年10～12月 見 通 し
全 産 業	▲ 52.0	(▲42.9) ▲ 33.0	(▲19.4) ▲ 7.0	1.0
製 造 業	▲ 66.7	(▲51.3) ▲ 23.5	(▲23.1) 8.8	20.6
非製造業	▲ 42.4	(▲37.3) ▲ 37.9	(▲16.9) ▲ 15.2	▲ 9.1
大 企 業	▲ 33.3	(▲33.3) 0.0	(▲33.3) ▲ 16.7	▲ 16.7
中堅企業	▲ 54.5	(▲36.4) ▲ 28.6	(▲9.1) ▲ 2.9	8.6
中小企業	▲ 52.5	(▲47.5) ▲ 39.0	(▲23.7) ▲ 8.5	▲ 1.7

※ () 書きは、前回(21年1～3月期)調査時の見通し。